



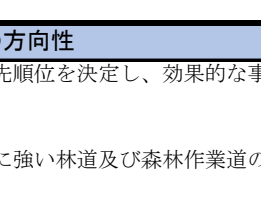
事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S39～	E-mail	ringyou@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-8 生活を支える地域交通の確保				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの森林が利用可能な年齢となっているものの、生産コストが割高となっていることなどにより、木材利用が一部にとどまっている。よって低コスト生産による安定的な木材供給が望まれる。 ○ 小規模な森林所有者が多く、集約的施策が困難。 ○ 低コスト生産、安定的な供給を支える高性能林業機械の導入数及び林内路網の整備量が少ない。
	【目指す姿】
	<p>県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。</p> <p><里山の集約化、高性能機械の導入及び路網の整備により 素材生産目標（R4）80万m3を目指す。></p>
	【実施内容】
	里山の集約化、高性能林業機械の導入、オペレータ養成、県営林道開設、補助林道整備、森林作業道整備 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	前年度繰越		573,409	667,127	
1	里山の集約化 (ha)	324	263 ↓	333 ↑	350	未達成	現計予算	1,040,986	1,026,418		
2	林内路網密度 (m/ha)	20.8	21.1 ↑	21.4 ↑	21.2	達成	合計(A)	1,614,395	1,693,545		
3							うち一般財源	59,690	41,629		
4							決算額(B)	1,104,772	1,038,883		
							職員数(人)	34.49	34.49		

成果指標設定理由	<p>① 効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を成果目標に設定</p> <p>② 林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため林内路網の整備状況を成果目標に設定</p>
達成状況の分析	<p>① 新型コロナウイルス感染防止対策のため同意取得に取り組む主体を支援することが困難になったことにより目標値には達しなかったが、多様な主体が里山の森林の集約化に取り組むようになったことにより、対前年度比では集約化が進んだ。</p> <p>② 作業道を中心に目標値を上回って林内路網整備が進んだ</p>

主な取組	<p>○里山の森林整備の集約化促進</p> <p>森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施策同意や境界明確化等を支援</p>	
	<p>○高性能林業機械の導入促進</p> <p>木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高め、林業就業者の確保・定着を図るため、高性能林業機械の導入を支援</p>	
	<p>○県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林内路網を整備</p> <p>県産材を効率的かつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道を整備</p>	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望が多くなっている。</p> <p>令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨災による、被災林道の復旧が急務となっている。</p>	<p>事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な事業実施に努める。</p> <p>早期災害復旧と併せ、災害に強い林道及び森林作業道の整備を進める。</p>

事業番号 10 02 04 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
1	林業基盤整備事業	1,104,771 千円	1,038,883 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	林業事業者が行う高性能林業機械の導入（リース含む）への補助 【導入支援7台 補助金額：43,141千円】 【リース支援4台 補助金額：27,923千円】
		補助金	林業事業者を対象とした、高性能林業機械のオペレーター養成研修の開催に補助 【高性能林業機械オペレーター研修2回54名参加 事業費：1,120千円】
2	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道の適切な維持管理と通行の安全を図るための財政支援 【1箇所 4,050千円】
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助 【林業専用道(規格相当)1路線、森林作業道10路線 53,700千円】
4	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援 【26団地 333ha 交付金額 5,017千円】
5	公共林道事業	直接	県営事業による林道の開設 【開設5箇所 240,197千円】
6	公共林道事業	補助金	市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 【開設5箇所、改良27箇所、舗装5箇所、ほか12箇所 計49箇所 653,538千円】
7	県単林道改良事業	補助金	小規模な林道の改良に対する補助 【改良2箇所 補助総額：10,197千円】